

Tatsuhei Mutoh —Wind of France—

武藤辰平

平成21年 文化庁「地域文化芸術振興プラン推進事業」

11月19日(木)～12月23日(水・祝)

主催／文化庁

「佐賀県地域文化芸術振興プラン」実行委員会

「武藤辰平 —フランスの風—」実行委員会(佐賀県立美術館・佐賀美術協会・佐賀新聞社)

会場／佐賀県立美術館 2号展示室

開館時間／9時30分～18時 休館日／毎週月曜日(※11月23日(月・祝)開館、翌24日(火)休館)

作品解説／武藤良平氏(武藤辰平 三男)によるギャラリートーク

(11月22日、29日 12月6日、13日、20日) 14:00～14:30 美術館2号展示室にて

入場料／無料

佐賀県立美術館

〒840-0041 佐賀市城内1-15-23 TEL.0952-24-3947

<http://www.pref.saga.lg.jp/web/museum.html> E-mail hakubutsukan-bijutsukan@pref.saga.lg.jp

—フランスの風—



セーズ河の夕 1932(昭和7)年 個人蔵



自画像 1920(大正9)年
東京藝術大学大学美術館蔵



花[アネモネ](ルドン模写) 1931-1934(昭和6-9)年 個人蔵



阿蘇風景 1960(昭和35)年頃 佐賀県立美術館蔵



虹 1933(昭和8)年 佐賀県立美術館蔵



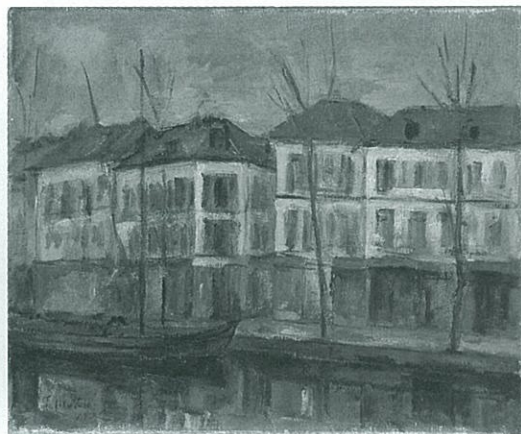
ミレー「春」を模写する武藤辰平
(1933年、パリ・ルーブル美術館)



春(ミレー模写) 1933(昭和8)年 個人蔵



コスモス 1955(昭和30)年 個人蔵



オランダ風景(ハーグ) 1932(昭和7)年 個人蔵

武藤辰平

大正時代から現代まで、佐賀県洋画壇の中心として活躍した洋画家・武藤辰平（1894—1965）の画業を振り返ります。武藤は1894（明治27）年、佐賀市材木町に生まれ、東京美術学校にて洋画を学び、岡田三郎助らとともに「佐賀美術協会」の創設に参加、以後、その展覧会（佐賀美術協会展）に出品を続けます。1931（昭和6）年より単身フランスに留学、ミレーやルドン、セザンヌ等の作品を模写しながら、かの地の明るくやわらかな色彩感覚を身につけました。帰国後、佐賀美術協会展への出品とともに、1949（昭和24）年「泰西名画模写展覧会」を佐賀市でひらくなど、郷土の美術振興と後進の育成に力を注ぎました。

本展覧会では油彩画、パステル画等を中心に、画業の初期からフランス留学期の代表作をはじめ、西洋絵画の模写計60点を展示します。



—フランスの風—